

＼ ころをつなぐ情報誌 /

うきは

2021.8.1
No.380

掲載記事は7月20日時点で作成しています。
新型コロナウイルス感染症による影響で、掲載記事の変更やイベント等が中止・延期となる場合があります。詳しくは市ホームページ、各問い合わせ先で確認してください。

目次

- 3 介護サービス費等の負担限度額／敬老祝金
- 4～5 うきは市の地下水“うきはの恵水^{めぐみ}”
- 6 児童扶養手当・特別児童扶養手当／吉井幼稚園令和3年度入園説明会
- 7 宿泊日帰り旅行助成事業デジタルチケット／企業版ふるさと納税の寄付／不用な携帯・インクカートリッジ回収BOX
- 8 公共交通を利用しよう／はかりの定期検査
- 9 うきはアリーナの利用券／うきは防災だより／6月入札結果
- 10～11 暮らしのカレンダー
- 12 第2回人権セミナー（無料Web視聴）／介護予防サポーター養成講座
- 13 保護者向け金銭教育講座／整理収納講座／福岡県外国人材受入企業講習会
- 14 みそ造り教室／地域産業資源活用事業補助金の公募／井戸水の水質検査の募集
- 15 ふるさと創生個性あるまちづくり・人材育成事業募集
- 16 職業無料紹介所／再生工房の料理教室／一日森林セラピー
- 17 図書館だより
- 18～19 広域情報／有料広告
- 20 お誕生日おめでとう／まちの話題

今日の表紙



毎年8月1日は水循環基本法で「水の日」と定められています。今号4～5ページでは、「うきは市の豊かな地下水“うきはの恵水(めぐみ)”」をテーマにお知らせします。

市では、平成28年度から3か年にわたり、地下水に関する調査を行った結果、平地部にたまっている水の総量は約7.4億m³と推計されました。

山間部に降った雨は森林や棚田に保たれながら、地下深くしみ込み、年月をかけて流れてきます。

また、筑後川の水は、先人の偉業で造られた大石用水、袋野用水を通じて田畑に引かれますが、夏期には地下にしみこむ水の量(涵養量)が多くなり、水位が冬期に比べて約1～2m高くなります。

このような地理的条件、そして、先人の努力により、豊かな地下水がもたらされています。

写真上：大石用水取水口

写真下：大石堰から広がる田畑の風景